

小惑星探査機「はやぶさ2」の技術を次世代へ インヘリット プラネタリウム新番組『INHERIT』を3月26日公開

佐々木蔵之介さんと櫻井孝宏さんがWキャストでナレーションを担当
「はやぶさ2」プロジェクトマネージャの津田雄一さんも特別出演

高崎市少年科学館は、日本科学未来館（東京都江東区）と共同で企画制作したプラネタリウム新番組『INHERIT～はやぶさ2・宙（そら）への夢と挑戦をのせて』を、2022年3月26日（土）に公開します。本作は「INHERIT（インヘリット）＝継承」をテーマに、小惑星探査機「はやぶさ2」の挑戦と成果、それを支えた技術者・研究者の熱い想いを紹介する映像作品です。

作品では、小惑星探査機「はやぶさ2」の製作に関わった人々へのインタビューを通して、先人から受け継がれてきた匠の技とものづくりへの思いを伝えます。そのうえで好奇心や挑戦を恐れない精神、そして技術や知恵というバトンを未来につなぐ子供たちの姿をイラストにして届けます。

「はやぶさ2」は、全国の技術者や研究者が企業や組織の枠を超えてつながり作り上げた技術と情熱の結晶です。本作では群馬県、福島県、神奈川県、宮城県の中小企業を訪問し、人工クレーター生成のための衝突装置や、採取したサンプルを格納する容器の製作に関わった技術者に、どのような思いで先輩社員から技術を継承し、今回の開発に取り組んだのか取材しました。ミッションを成功へと導いた技術者の「やり遂げるといふ強い気持ちを持つ」「若い人と一緒に仕事をしながら教えていくのが基本」といった生の声をお聞きください。



『INHERIT』メインビジュアル

監督・演出を手がけるのは広告・CMのほか演劇ユニット☆宇宙食堂を主催する新井総さん。監修は JAXA 宇宙科学研究所はやぶさ2プロジェクトの吉川真さん。作品中では、「はやぶさ2」の技術開発を指揮した津田雄一さんが特別出演するほか、俳優の佐々木蔵之介さん/声優の櫻井孝宏さん（Wキャスト）、声優の早見沙織さんがナレーションを担当、小惑星のサンプル採取に成功したミッションを紹介します。イラストパートでは、星空を見上げながら自分の役割について自問する兄と、その妹の声優として、ミュージカルやテレビなどで活躍する高橋玲生さんと新津ちせさんが出演します。

■ 投映概要 ■

- タイトル** 『INHERIT～はやぶさ2・宙への夢と挑戦をのせて』（本編約30分）
※季節の星座解説を含む約40分のプラネタリウム番組として投映します
- 公開日** 2022年3月26日（土）
- 投映スケジュール** 土・日・祝：13:30～、16:00～／火～金曜：14:00～ ※春休み期間は土・日・祝スケジュールで投映
- 休館日** 月曜日（祝日の場合は翌平日が休館）
※3月29日（火）、5月31日（火）は投映休止
- 会場** 高崎市少年科学館プラネタリウムホール
- 観覧料** 一般320円 ※小中学生以下、65歳以上などの方は無料
※観覧料の団体料金や減免の詳細 URL：<http://www.t-kagakukan.or.jp/pla/pla.html>
- 備考** 日本科学未来館では4月16日（土）より公開します

一般からのお問い合わせ先	本企画に関する報道関係者からの問い合わせ先
高崎市少年科学館（開館日の8:30～17:00） 〒370-0065 群馬県高崎市末広町23-1 TEL:027-321-0323 URL: http://www.t-kagakukan.or.jp/	高崎市少年科学館 天文課 TEL:027-321-0323 FAX:027-310-6676 E-MAIL:planet@t-kagakukan.or.jp

■『INHERIT～はやぶさ2・宙への夢と挑戦をのせて』作品概要■

「僕にできること、僕だけの役割って、何なんだろう」

星を見上げて、ふと自分の存在の頼りなさに不安を覚えた少年。彼の自問をきっかけに展開されるのは、星空の謎に挑み続けた人類の歴史、その想いを受け継ぐ「はやぶさ2」の成果。さらに独自の先端技術や匠の技を生かしてミッション成功を支えた、技術者たちの現場の声です。交差しながら進む、「はやぶさ2」と、未来へバトンをつなぐ子どもたちのシーン。妹ととりとめのない話をしながら、少年は、何か答えにたどりつけるのでしょうか ——。



監督・演出:新井総 脚本:三苫香 監修:吉川真(JAXA 宇宙科学研究所 はやぶさ2プロジェクト)

声の出演:佐々木蔵之介/櫻井孝宏(Wキャスト)、早見沙織、高橋玲生、新津ちせ 作曲:林祐介

特別出演:津田雄一(JAXA 宇宙科学研究所 はやぶさ2プロジェクト)

出演:はやぶさ2の製作に関わった企業の方々

撮影協力:JAXA、IHI エアロスペース、石川製作所・タマテック、下平製作所、ティ・ディ・シー、日本工機、日本飛行機

映像制作:ライトプレーン 共同企画・共同制作:高崎市少年科学館 企画・製作・著作:日本科学未来館

■監督、監修者プロフィール■

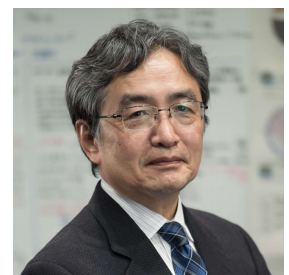
●監督・演出:新井総

CMディレクター/映像ディレクター/脚本・演出家。広告代理店、CM制作会社を経て、2002年よりフリーランス。フリーランスを機に、広告・CMだけでなく、宇宙カルチャー、イベント、演劇などその活動領域を多岐に広げるようになる。特に宇宙カルチャーにおいては「宇宙を文化に。」をモットーに、業界の風雲児的な存在になっている。一般社団法人宇宙カルチャー推進協会 代表理事、演劇ユニット☆宇宙食堂 主宰、JAXA 宇宙教育リーダー。1970年生まれ、中央大学卒。



●監修:吉川真

宇宙航空研究開発機構、宇宙科学研究所、准教授。理学博士。「はやぶさ2」ミッションマネージャ。1962年、栃木県栃木市生まれ。東京大学理学部天文学科卒業。同大学院卒業。日本学術振興会の特別研究員を経て、1991年からは郵政省通信総合研究所に勤務。1996年にはフランスのニース天文台に1年間派遣。1998年に文部省宇宙科学研究所に異動。2003年10月からは、組織の統合により現在に至る。専門は天体力学。「はやぶさ」や「はやぶさ2」等の太陽系天体探査ミッションを中心に惑星探査関連の研究をしている。また、天体の地球衝突問題(プラネタリー・ディフェンス)についても研究を進めている。



■高崎市少年科学館プラネタリウムとオリジナル番組について■

直径21メートルのドームスクリーンに、日本最大級の光学式プラネタリウム投映機によるナチュラルな星空と、全天周を覆うリアルなデジタル映像を映し出します。地域に根差した小中学校の理科教育などでの活用は勿論のこと、緻密なストーリーと迫力の映像・音響による、当館のオリジナル企画・制作によるプラネタリウム番組を一般市民向けに放映しています。

これまでの主なオリジナル番組

『はやぶさ 一約束の場所へ』(2010年制作)

『脱出のプラネタリウム』(2021年制作)

『星に願いを、月に祈りを』

(2015年制作、日立シビックセンターとの共同制作)

